

市長定例記者会見

令和元年5月31日（金） 午前10時

- | | |
|------------------------------|-----|
| 1. 若い力が地域を守る～学生消防団がスタート | 1 P |
| 2. シティプロモーションアドバイザーの新設 | 2 P |
| 3. 市職員の防災力の強化を図ります | 3 P |
| 4. コミュニティサイクル「かごりん」サイクルポート新設 | 4 P |
| 5. 目標達成まであと41g～平成30年度ごみ・資源物量 | 5 P |
| 6. おすすめイベント情報～みどりあふれるかごしま市 | 別冊 |



渋谷・鹿児島おはら祭、鹿児島焼酎&ミュージックフェス（5月18日～19日）



1. 若い力が地域を守る ～学生消防団がスタート

大学生や短大生などで組織する学生消防団(学生機能別分団)の活動が6月1日からスタートする。(県内初)

機能別消防分団とは

消防庁が平成17年に導入した制度で、能力や事業に応じて特定の活動のみ参加する団員で組織される消防分団。時間帯を限定した活動や特定の災害種別にのみ活動し、消防団の活動を補完する役割を果たす。

1 学生消防団の概要

対象 市内に住むか通学する大学生・短大生など

団員数 74名(男32名、女42名 5/30現在)

※団員は随時募集中

活動内容

(1) 防災に関するスキルの習得

- ・基本的な消防訓練、救命講習、避難所運営に関する研修などの受講
- ・鹿児島マラソンやサマーナイト大花火大会などでの警備活動

(2) 大規模災害時における避難所運営の補助

- ・救援物資の配布、避難者の救護など

2 辞令交付式

日時 6月1日(土) 9時30分～10時

場所 市消防総合訓練研修センター(新栄町)

内容 消防団長からの辞令交付など

3 発足式

日時 8月3日(土) 10時～10時30分

場所 市消防総合訓練研修センター(新栄町)

内容 分団旗授与、団員の決意の言葉、訓練披露(心肺蘇生法及びAED取扱い)など

7月から「Net119緊急通報システム」がスタート

◇聴覚・言語機能に障害がある人がスマートフォンなどを使って、音声なしで消防へ通報することができます

※利用には事前登録が必要

◇対象 本市に住むか通勤・通学する聴覚・言語機能に障害のある人

◇申込方法など詳しくは消防局HPが同局情報管理課 ☎222-0119 FAX225-8119 E-mail:joukan@city.kagoshima.lg.jp



■ 問い合わせ
消防局警防課
099-222-0960

2. シティプロモーションアドバイザーの新設

本市のシティプロモーションを推進し、鹿児島ファンのさらなる拡大を目指してシティプロモーションアドバイザーを新設する。

1 シティプロモーションアドバイザー

まつやま りょういち
松山 良一 氏

1949年生まれ 本市出身
独立行政法人日本政府観光局（JNTO）前理事長
国際大学グローバル・コミュニケーションセンター所長
学校法人国際大学理事



選任理由

本市への強い郷土愛を持つとともに、昨年度、鹿児島市シティプロモーション戦略ビジョンの策定に当たっては、有識者会議の委員を務め、シティプロモーションに関する造詣も深い。
また、米国三井物産副社長や日本政府観光局理事長などを務めた経歴があり、海外ビジネス等で培われた識見や豊かな経験に基づく助言や、松山氏自身の国内外における広い人的ネットワークを活用した情報発信による本市の認知度やイメージの向上も期待できる。

2 主な業務

- ・シティプロモーション関連施策に関する助言
- ・シティプロモーション関係団体を対象とした講演や職員研修
- ・関係局長等との意見交換 など

3 委嘱式

日時 6月6日（木）15時10分～15時35分

場所 市役所本館2階応接室

4 任用期間 6月1日～来年3月31日（更新も可能）

■ 問い合わせ
広報戦略室
099-803-9546

3. 市職員の防災力の強化を図ります

1. 職員災害初動体制マニュアル〈携帯用〉の作成

夜間や休日など市職員の勤務時間外に災害が発生した場合の登庁基準、非常配備体制などを記載した携帯用のマニュアルを作成し、6月に全職員に配布する。

- ・普段から携帯できるよう名刺サイズで作成

内 容 ①登庁時のチェックリスト（服装、携行品など）
②職員の自主登庁基準、登庁方法
③災害別の非常配備体制 など



2. 危機管理セミナー

期 日 6月10日（月）13時30分～15時

対 象 市職員 約100人

場 所 災害対策本部室

内 容 ・講話「風水害・地震の仕組みと市民の避難行動」
講師 鹿児島大学農学部 地頭菌 隆 教授
・職員災害初動体制マニュアルについて（危機管理課による説明）

3. 全庁的な地震発生時行動訓練

全国一斉で行われる緊急地震速報訓練に合わせて、地震発生時の行動訓練を全庁的に実施する。

期 日 6月18日（火）10時～10時30分

場 所 市（各支所、出先を含む）や、市が所管する施設の全職場

※当日は、国体推進部、城南保育園で取材が可能
内 容 地震発生直後の来庁している市民への対応、各職場における被害状況の確認 など



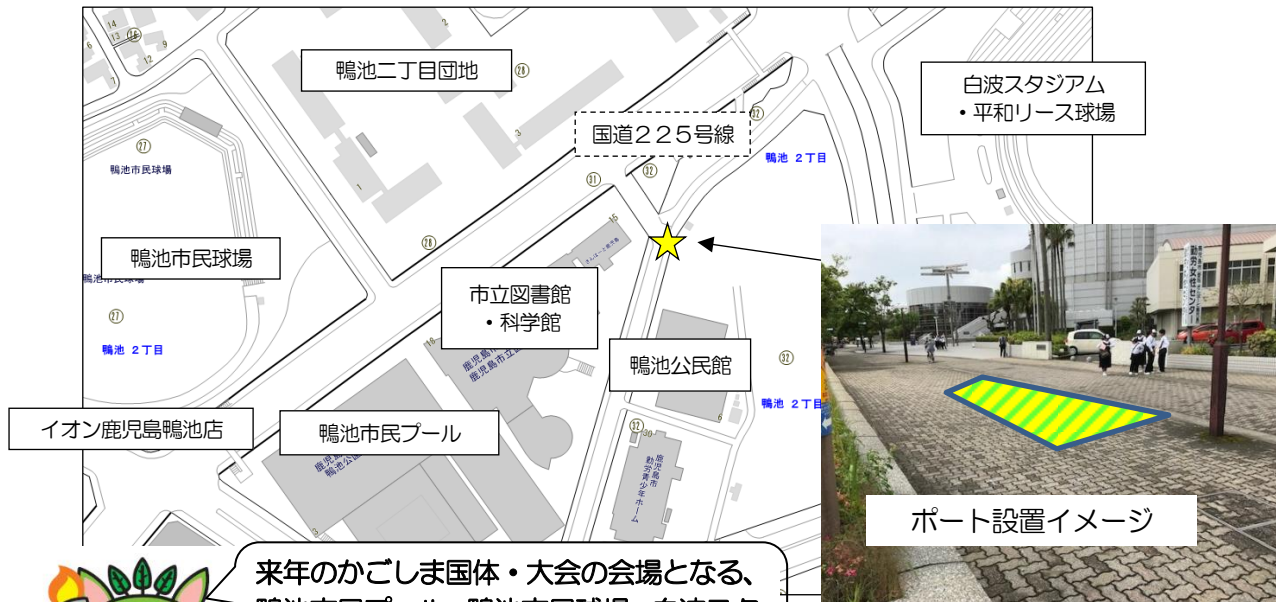
城南保育園

■ 問い合わせ
危機管理課
099-216-1213

4. コミュニティサイクル「かごりん」サイクルポート新設

鴨池エリアの文化・スポーツ施設のアクセス向上を図るため、「かごりん」のサイクルポートを、市立図書館・科学館前に新設する。(今回の設置で、サイクルポートは合計25か所となる)

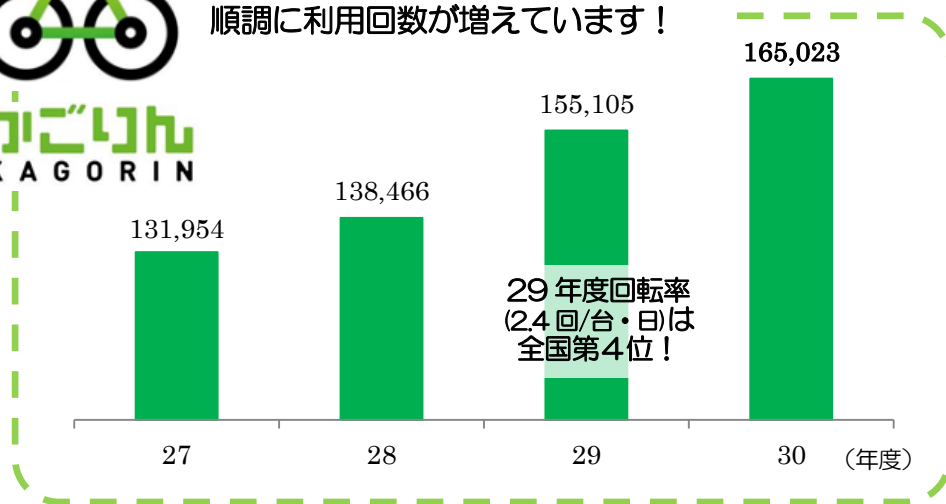
供用開始日 6月下旬



来年のかごしま国体・大会の会場となる、鴨池市民プール、鴨池市民球場、白波スタジアムなどのアクセスにも便利!



順調に利用回数が増えています!



※本日11時から本館特別会議室で、かごりん『マグマシティ号』の贈呈式を行います。

■ 問い合わせ
環境政策課
099-216-1296

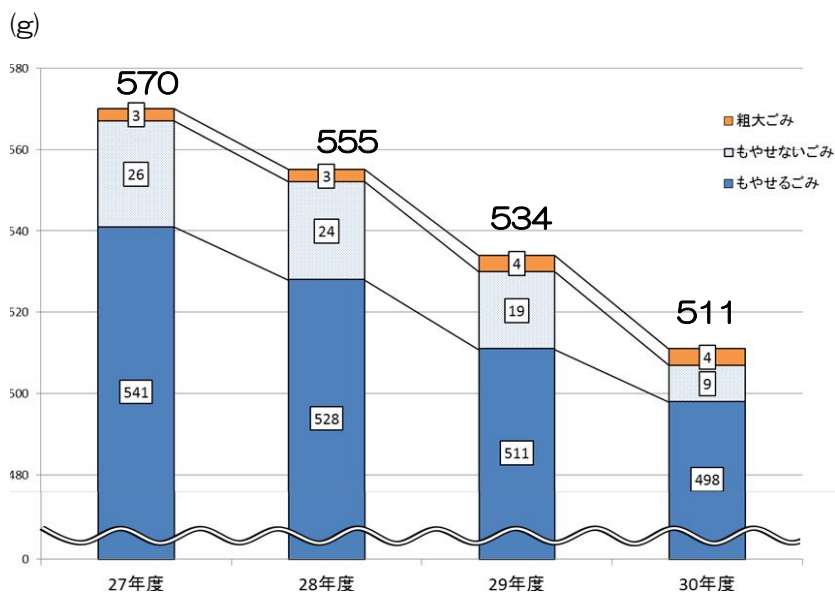
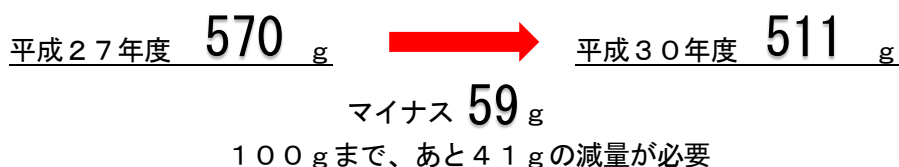
5. 目標達成まであと41g ～平成30年度ごみ・資源物量

本市では、平成28年度から「家庭ごみマイナス100g」を目標に掲げ、その達成期限を令和3年3月に設定しており、平成30年度末で、あと41gの減量が必要という結果になった。

1. 平成30年度ごみ・資源物量

種別	29年度	30年度	増減
ごみ量	188,063 t	183,625 t	-4,438 t 2.36%減
資源物量	25,938 t	27,769 t	+1,831 t 7.06%増
市民1人1日あたりの 家庭ごみの量	534 g	511 g	23 g減

2. 市民一人1日当たりの家庭ごみ量の推移



3. ごみ減量の主な理由

- ・住民説明会の実施等により、市民の分別意識の高まった
- ・昨年からスタートした金属類の分別収集による資源化が進んだ



ストップピーくん

引き続き、市民みんなで
ごみの減量化に取り組みましょう！

■ 問い合わせ
資源政策課
099-216-1290